

## 大場允晶先生の定年退職にあたって

日本大学経済学部長 井 尻 直 彦

大場先生は、2000年に本学部に助教授として着任され、2003年に教授に昇格されました。それからおよそ18年間にわたり、本学部の教員として教育ならびに研究に携われました。

私は学部内の行事や研究プロジェクト等でご一緒させていただいた際に、穏やかで人間味溢れる口調でお話をされる半面、関心のある点を鋭く質問されるなど、研究者・教育者としての厳しい面もお持ちであり、多くを学ばせていただきました。大場先生のさまざまな知識の源は先生の豊かなご経歴に拠っているのではないかと拝察いたします。

ここで改めて大場先生のご経歴について簡単にご紹介したいと思います。大場先生は、1951年に東京でお生まれになり、1970年に都立石神井高校をご卒業の後、1972年に横浜国立大学工学部電気化学学科にご進学され、同大学同学科1976年にご卒業されました。同年4月に同大学大学院工学研究科修士課程に進学され、1978年に同大学院を修了された後に、小西六写真工業株式会社（現・コニカミノルタ）に就職されました。そして1992年に東京都立科学技術大学大学院博士課程後期工学システム専攻にご入学され、1996年に同大学院より博士（工学）を取得されました。その後、同社にてさらなるご活躍の後、2000年に本学部に生産管理論の担当者として着任されました。

大場先生は、教育活動のかたわら、社会システム工学、安全システムに関わる多数の論文を執筆されるなど数多くの研究業績を残しておられます。また、日本経営工学会、日本ロジスティックシステム学会、日本設備管理学会、横断型機関科学技術研究団体連合など多くの学会に所属され、評議員、理事、支部長などを歴任されるなど、研究者として学会ならびに本学部の研究活動に多大な貢献をされています。

さらに、本学部においては、主には就職指導委員会、産業経営研究所らの副委員長として、学部の発展に、また学生にとっても人気のあった、企業経営者をお招きし現場の経営をご講義いただく産業経営特殊講義を長らくご担当いただくなど、学部の実践的な教育面でも大きく貢献されました。

長年にわたり学部のためにご尽力いただきましたことへ心からお礼を申し上げるとともに、大場先生の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念し、巻頭の辞と致します。